

過

五年

回数 12
筆順
オン
クン

口 m m 丹 過
す じ ぎ る じ じ ず
あ や ま じ つ じ ち

成り立ち



水の中にできる「過」の意味の「過」と、道を進む意味の「過」とを組み合わせて作った字です。

過は、水の勢が強すぎてできるものです。「過」は「勢いがよすぎて、道をいきすぎること」を表した字です。

今は、道に限らず、「物事のていどをこえる」意味に使います。「例過大、過労」。

「通りすぎる」という意味にも使われます。「例通過駅、時間の経過」。

また、「まちがい(あやまち)」という意味にも使われます。「例過失、過誤、大過」。

「骨」は、骨の関節の丸い穴と、先の丸い骨とが接合した所の形を表した字で、「丸い」意味を表す。」

使い方

▽おとうさんが過勞で病気になるました。おかあさんは心配して、夜もろくに寝ないで看病しています。働き過ぎは体に毒です。病気が早く治ると良いと思います。過失はだれにもありがちなことです。間違いをしない人間は居ません。過失をおかしたと思ったら、すぐ改めることが大事です。そして、迷惑をかけた人にあやまることです。大過なく人生を送ることができた人は幸運です。

熟語例

- ▽過大(大き過ぎること。「過大な期待を寄せてはいけません」などというふうに、つかいます。)
- ▽過勞(働き過ぎること。)
- ▽通過(通り過ぎること。)
- ▽経過(時が過ぎること。また、ある時間内での、ものごとのなりゆき。「試合の経過をお知らせします」などというふうに、つかいます。)
- ▽過失(あやまち。失敗)
- ▽過誤(あやまち。間違い)
- ▽大過(大きなあやまち)

賀

五年

回数 12
筆順
オン
クン

マ カ カ 賀
ガ

成り立ち



「お金」の意味の「貝」と、「加える」意味の「加」とを組み合わせた字です。

「言葉の上にお金を加える」という意味の字で、「お祝いの言葉をのべるのに、お金をそえること」を表した字です。「人におくり物をしてお祝いすること」です。

今では、単に、「お祝いの言葉をのべる」という意味に使います。「例年賀、賀状、賀詞」。

また、「いわう」こと。「例祝賀、賀正、賀春」。

使い方

▽今年の年賀状は、何か工夫をこらして、楽しい物にしようと思います。色をたくさん使ったり、愉快なイラストを入れたりするつもりです。

▽おじいちゃんとおばあちゃん、毎年、天皇誕生日に、皇居に参ります。天皇陛下のお誕生日を祝う一般参賀に参加するためです。天皇陛下はとも立派な方だと、おじいちゃんやおばあちゃんは、言いました。

熟語例

- ▽年賀(新年を祝うこと。「年賀状」は、新年を祝って出す手紙です。)
- ▽賀状(何かを祝って出す手紙。とくに、年賀状のことをさします。)
- ▽賀詞(お祝いの言葉。「賀詞を述べると」というふうな、つかいます。)
- ▽祝賀(お祝い。「祝賀会を開く」というふうな、つかいます。)
- ▽賀正(正月を祝うこと。年賀状に書く言葉です。)
- ▽賀春(新春。つまり正月を祝うこと。これも、年賀状に書く言葉の一つです。)